

<支部だより>

JDSの仲間たち

No.39 東京目黒支部
木苺の会

● あゆみ

東京都目黒区の木苺の会は2006年に発足しました。区内の療育機関に通うダウン症のある子を持つ親で立ち上げられた会です。生まれたばかりのお子さまから成人式を終えた社会人まで仲良く、楽しく活動しています。

● 活動

月に一度の定例会ではお茶を飲みながら、困ったことを相談したり、近況報告をしたり、みんなで喜び、笑い、怒り、泣き…幼稚園のこと、保育園のこと、学校のこと、就労のこと、習い事のことなど、アドバイスをいただいたり、したり、情報交換の場になっています。子どもたちも親のお話に加わったり、横で子ども会議をしていたり、走り回ったり、本を読んだり、ゴロゴロしたりして過ごしています。親オンリーの参加もありですし、一人で参加している高校生もいます。学校にお願いしたいこと、区への要望等様々なことの作戦会議もこの場で開いていて、みんなの知恵で良い結果に結びついたりしています。

様々なイベントも開催しています。中でも林試の森公園でのBBQは大好評！お父さんたち

主催で、子どもたちもパパと一緒に働き？、母たちは食べる！に専念！？

私たち親はみんな、子どもたちの健やかな成長を願っています。元気に学校や職場に通い、学び、遊び、働き、困っている人を助けたいと思う優しい心を持った人になってほしいと切に願っています。しかし実際のところ、親が本人たちから教えてもらうことの方がよっぽど多かったです。

活動としては、下記のようなことをしています。

- 定例会～茶話会（月1回）
- 動作法セラピー（月1回、要申込、定例会と同日に開催）
- 赤ちゃん体操（月1回）
- ポニー乗馬（月1回）
- マカトンクラブ（隔月）
- 親子でフラワーアレンジメント
- バーベキュー（年2回 親父の会主催）
- クリスマス会等

木苺の会では子育てを楽しみながら、これからもみんなで集まり、楽しく元気に、活動してまいります。

● 支部長より



今年の4月から木苺の会の支部長をさせていただいています。地域のダウンちゃんのパパ・ママたちが、ゆるやかな、でも強いつながりを育ててきました。子どもがダウン症を持っていると、赤ちゃんから、幼児、学校、就労と生きていく中で、当たり前なことでも、説明したり、お願いしたりしなければならなかったり、それでもわかってもらえなかったり。そんな時でもこの会が強い味方です。これからも、小さなことでも大きなことでも、一人でできないことをみんなで力を合わせてやっていく場として、また喜びを分かち合う場として、育っていけたらと思います。

- ◆ 設立年度：2006年
- ◆ 支部長：長谷川 直子
- ◆ 会員数：25人
- ◆ ご本人の年齢：0～23歳
- ◆ 対象地域→主に目黒区在住の方

写真左：月に一度の定例会の様子
写真右：パパと一緒にバーベキュー

